

「選挙区（立川・日野・昭島）の問題点から導き出した政策提言」

明治大学 政治経済学部 政治学科 二年
岩波卓也

・テーマ設定理由

私は日野に住んでいて、この夏のインターンでも日野を中心に支援者の方を訪問させてもらったのですが、その支援者の方の中には、個人経営の商店を営む方々が多くいました。しかし現在、郊外に大型店舗の出店などのより、個人で商店を営む方々はとても苦しい状況です。そのような中で、どのようにすればそのような方々を救えるのか考え提言したいと思います。

・政策提言

今までも、国は国土計画やまちづくり三法などいろいろな政策を打ち出してきました。しかし、どれも一貫性がなく、短期的なスパンで行われており、全国画一的で補助金など上から押し付けられたものばかりです。このような状況の中で、基本的には住民が主体となって、まちを作っていくという方針で考えていきたいと思いま



す。そこで私が考えたのは、小泉純一郎内閣が打ち出した構造改革特区を参考にし、商店街ごとに特区を申請してもらい、まちづくりにかかる規制を取り払いたいと思います。このようにすれば、住民の意思を取り入れやすく、地域ごとのに特色が出せると考えます。また、今までのような短期的スパンではなく、中長期的なスパンで行えば成果も出やすいと思います。

・日野市へのアウトプット

次に、私が住んでいる日野市にこの政策をアウトプットしていきます。まず、現在の日野市の状況として、近隣に立川・八王子をはじめとした繁華街やショッピングモールなどが日野市を中心に円を描くように存在しています。



街並みの整備に関しては、「緑の清流のまち」というコンセプトのもと積極的に行われています。また、交通面でも中央線・京王線・多摩都市モノレールが通っており、近隣の市と比較すると交通手段が発達しています。このような条件下で、私が着目したのは、中央大学をはじめとする教育機関が多数存在していることです。厳密には中央大学は八王子ですが、約 41200 人の学生が毎日日野市に通学しています。

○日野市の大学

- | | | |
|------------------|-----|-----------|
| ・中央大学 | 学生数 | 約 25000 人 |
| ・実践女子大学 | 学生数 | 約 4500 人 |
| ・明星大学 | 学生数 | 約 9000 人 |
| ・首都大学東京（日野キャンパス） | 学生数 | 約 1500 人 |
| ・杉野服飾大学 | 学生数 | 約 1200 人 |

合計 約 41200 人

先ほど述べたように、近隣には商業施設が多数存在しているため、やみくもに大型施設を建設するよりも、住民が住みやすい街を整備する方がよいと考えます。経済的な面は日野市に通学している学生の消費を上げることで、補っていきたいと思います。そこで、住民だけでなく、学生もまちづくりに参加し、高田馬場は早稲田大学、日吉・三田は慶應義塾大学のように、日野市は中央大学というようにしていきます。具体的には、全員学生であるインターン生全員で考えたのですが、市・不動産業者と提携し学生が住みやすいような料金設定にすることや学生街には必ず存在する名物を生み出すことなどが挙げられます。さらに、商店街でも、空き店舗を学生と提携して、新しい店舗を出店するなどが挙がりました。

・長島昭久議員のコメント

面白いですね。中央大学は厳密には八王子だといっていました。法政大学や拓殖大学など近隣の大学を含めると41200人の何倍にもなるでしょう。つまり、日野市を学生のまちにする際の潜在的な学生の人数は、膨大な数になります。日野市を学生のまちにする



ことは、市が本気になり、大学と提携し、安価で安全な学生が住みやすいまちは実現できると思います。商業施設は立川にとられ、企業は離れていっている日野市の状況下では、学生のまちというのは売りになり、ネームバリューも上がるでしょう。しかし、学生は税金を納めてくれないことが問題として挙げられます。確かに、消費を上げることで多少の消費税は入ってくるでしょう。それでも、地方自治体にとっては、企業が来ることが一番良いのです。企業と最先端技術を持つ研究機関を一緒に誘致し、学生にも企業にも良いまちを目指すのもよいのではないのでしょうか。やはり、学生のまちというもの

・政策提言を終えて

今回、「選挙区（立川・日野・昭島）の問題点から導き出した政策提言」というテーマで行かせていただき、主に地元商店・商店街の活性化に焦点を当てました。その際に、私の住んでいる日野市に考えた政策をアウトプットさせてもらいました。日野市を学生の町にするという提案に、代議士から自治体には企業を誘致することが一番よく、それに伴う税金が必要というコメントをいただきました。確かに、私の政策はどのように実現するかやどれくらいの利益が出るかなどの想定が甘かった気がします。このようなコメントをいただくまで、税金という視点は全く思いつきませんでした。普段から、現実的な視点でいるのは、さすが政治家だと感じました。今後、この経験を活かし、ただアイデアを出すのではなく、具体的な実現方法も考えていきたいと思っています。

